

# AV レシーバー

## かんたん設置ガイド

YAMAHA CORPORATION

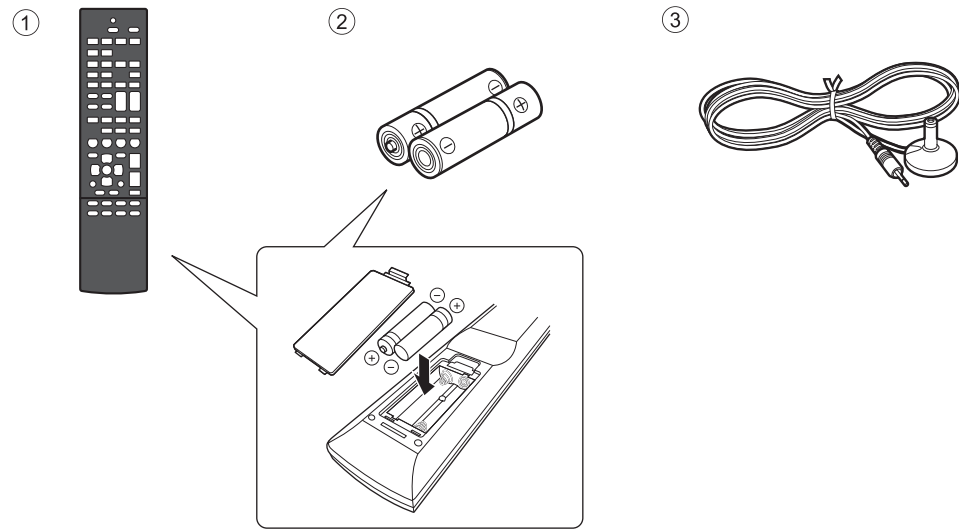
© 2014 Yamaha Corporation Printed in Malaysia ZK09940 J

本書では、基本的な接続と設定方法をご案内します。  
詳しい説明は、別冊の「取扱説明書」をご覧ください。

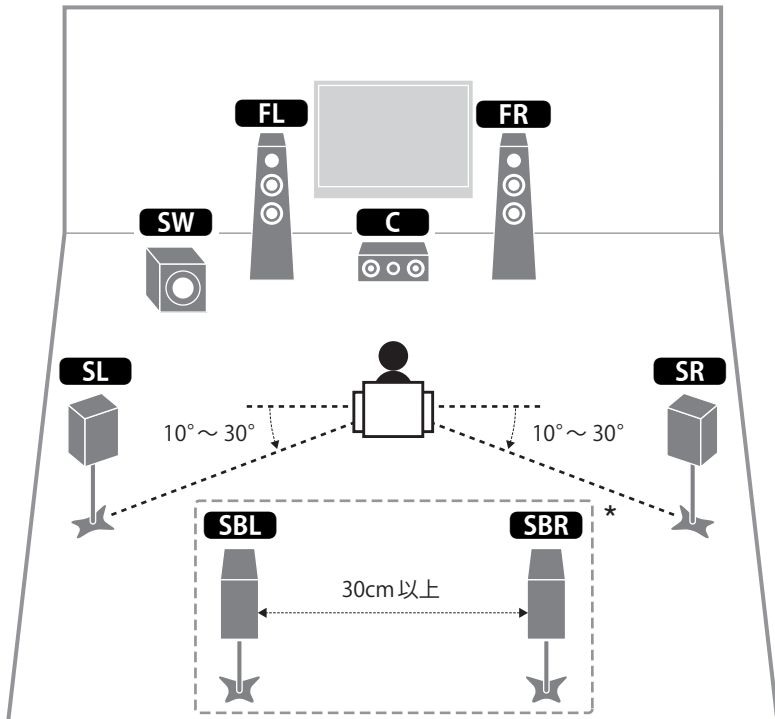
本書と「取扱説明書」のPDF版を以下のウェブサイトからダウンロードできます。  
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

本機のイラストは特に断りのない限り、7.1 チャンネル対応機種を使っています。

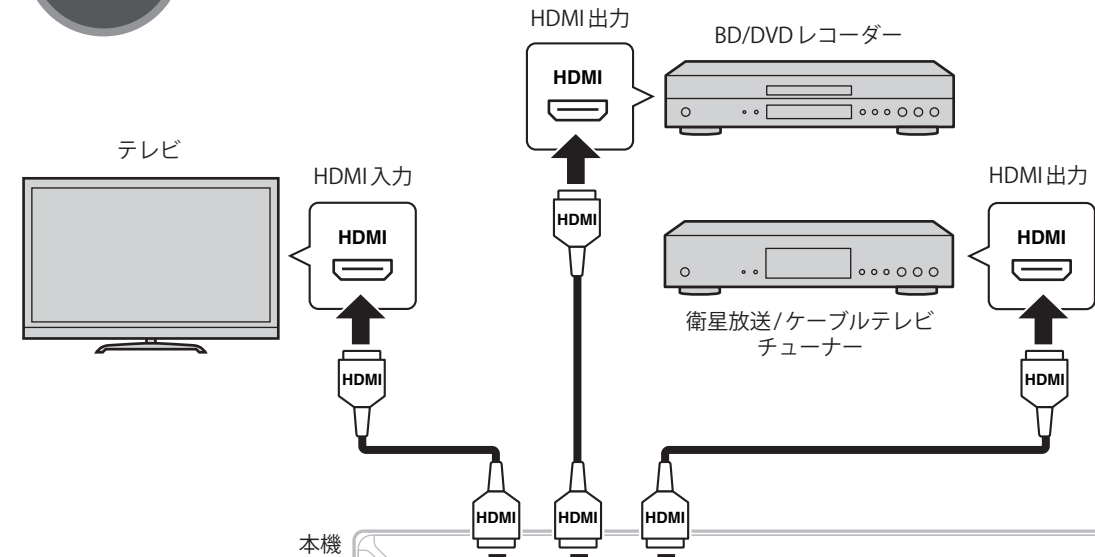
### 1



### 2

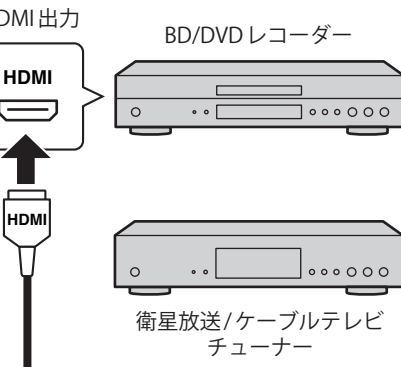
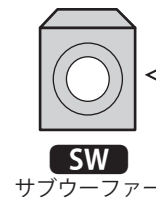


### 4

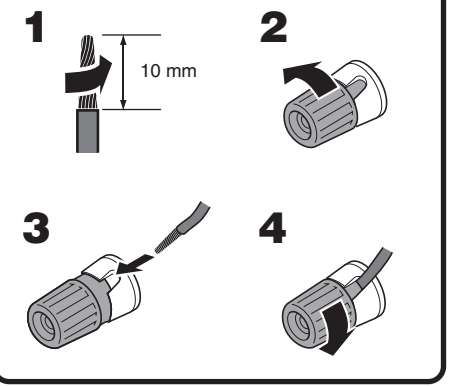
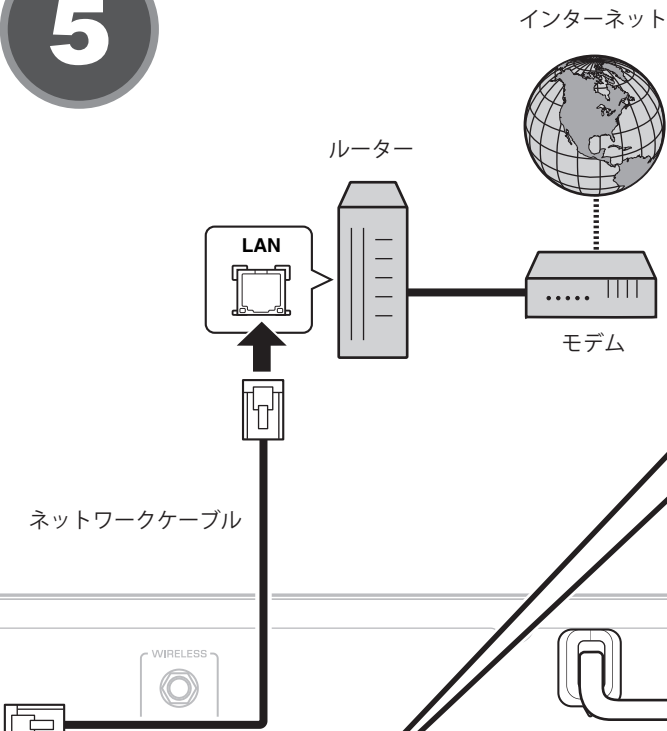


### 3

サブウーファーは  
アンプ内蔵のもの  
をお使いください。



### 5



### 6

コンセントに接続

### 1 本書で使う付属品

- ① リモコン
- ② 単4乾電池 (2本)
- ③ YPAO用マイク

本書の説明どおりに接続する場合、以下のケーブルを別途  
ご用意ください。

- ・スピーカーケーブル (スピーカーの本数分)
- ・モノラルピンケーブル (1本)
- ・HDMIケーブル (3本)
- ・ネットワークケーブル

### 2 スピーカーを部屋に配置する

図を参考に部屋にスピーカーを配置してください。

- FL** フロントスピーカー (左)
- FR** フロントスピーカー (右)
- C** センタースピーカー
- SL** サラウンドスピーカー (左)
- SR** サラウンドスピーカー (右)
- SBL** サラウンドバックスピーカー (左) \*
- SBR** サラウンドバックスピーカー (右) \*
- SW** サブウーファー

\* 7.1 チャンネル対応機種のみ

### 3 スピーカー/サブウーファーを 接続する

- ・スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。また、サブウーファーの電源を切ってください。
- ・スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、本機の金属部に触れたりしないようにしてください。本機やスピーカーが故障する原因となります。スピーカーケーブルがショートしている状態で電源を入ると、前面ディスプレイに「Check SP Wires」と表示されます。

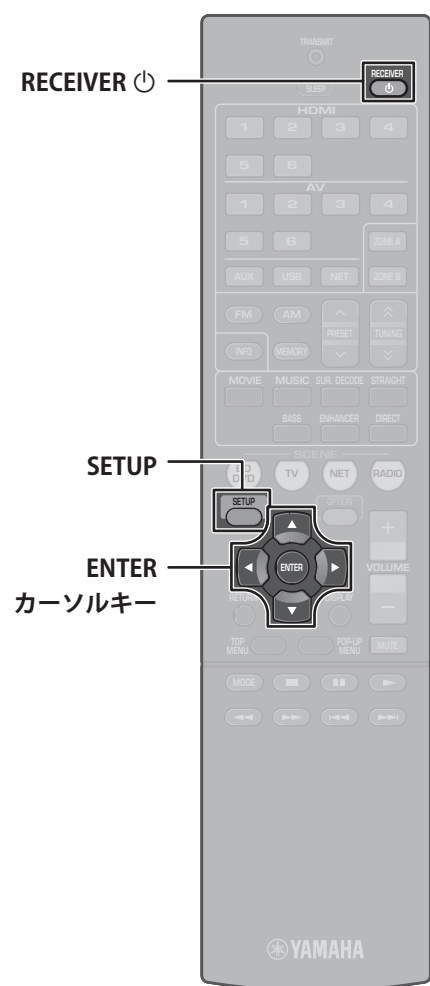
### 4 外部機器を接続する

### 5 ネットワークに接続する (有線ネットワーク接続)

### 6 電源コードを接続する

## 7 スピーカー設定を自動で調整する(YPAO)

付属の YPAO 用マイクを使って、スピーカーの接続や視聴位置との距離を検出し、音量バランスや音色などのスピーカー設定を自動で調整します (YPAO : Yamaha Parametric room Acoustic Optimizer)。

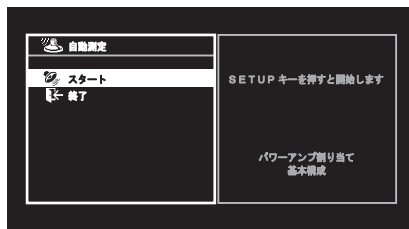


YPAO 使用時は次のことにご注意ください。

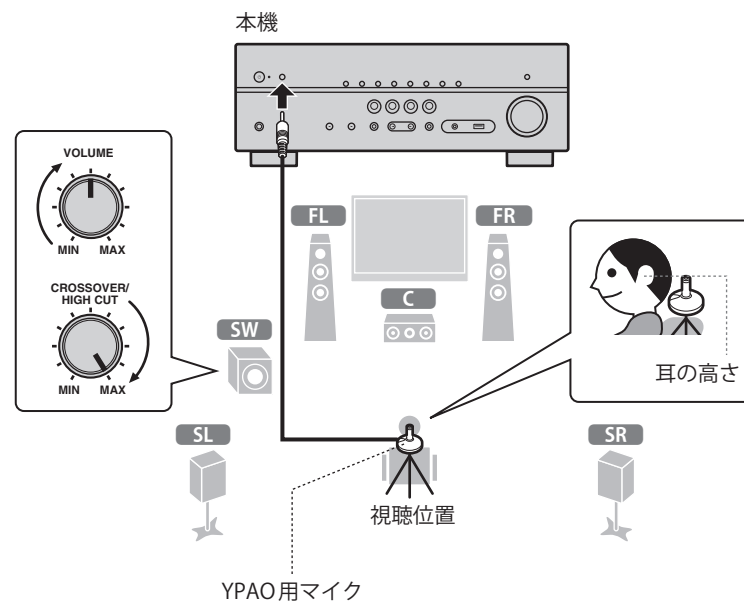
- ・テレビやスピーカーの接続が終わってから YPAO を実行してください。
- ・測定中は大きな音が出されます。小さなお子様がいっしょの場合は十分に配慮ください。
- ・測定中は音量を調節できません。

- ・測定中は部屋を静かに保ってください。
- ・測定中は部屋の後方の隅にとどまり、スピーカーと YPAO 用マイクの間を遮らないようにしてください。
- ・ヘッドホンは接続しないでください。

- 1 RECEIVER** キーで本機の電源を入れる。
- 2** テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機 (HDMI OUT 端子) からの映像に切り替える。
- 3** サブウーファーの電源を入れ、音量を半分に調節する。  
クロスオーバー周波数を調節できる場合は最大にする。
- 4** 付属の YPAO 用マイクを視聴位置に置き、前面の YPAO MIC 端子に接続する。  
テレビに次の画面が表示されます。

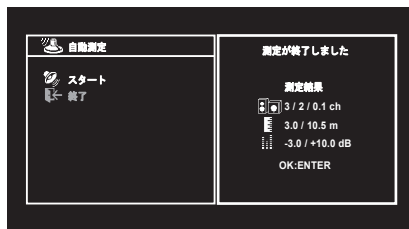


YPAO  
[SETUP]:Start



YPAO 用マイクを視聴位置 (耳の高さ) に置きます。三脚などをマイクスタンドとしてお使いください。三脚のネジを使ってマイクを固定できます。

- 5** 測定を始めるには、**SETUP** キーを押す。  
10 秒後に測定が始まります。所要時間は約 3 分です。  
測定が終わると、テレビに次の画面が表示されます。



YPAO  
Finished



- ・エラーメッセージ (E-1 など) や警告メッセージ (W-2 など) が表示された場合は「取扱説明書」の「エラーメッセージ」または「警告メッセージ」をご覧ください。
- ・警告メッセージ「W-1 : SP 接続逆相」が表示された場合は、下記の『「W-1 : SP 接続逆相」が表示された場合』をご覧ください。

- 6** 測定結果を保存するには、カーソルキー (◀/▶) で「保存」を選び、**ENTER** キーを押す。



YPAO  
>Save Cancel

- 7** YPAO 用マイクを本機から取り外す。



YPAO 用マイクは、高温になる場所や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。

これでスピーカー設定は完了です。

### 「W-1:SP 接続逆相」が表示された場合

以下の手順でスピーカーの接続を確認してください。



警告メッセージ

- ① 前面ディスプレイのスピーカー表示で点滅しているスピーカーを確認する。

YPAO  
W-1:PHASE

警告メッセージの対象スピーカーが点滅

- ② 該当スピーカーのケーブル接続 (+ と -) を確認する。

#### 間違って接続されている場合：

本機の電源を切ってからスピーカーケーブルを接続し直して、もう一度 YPAO を実行してください。

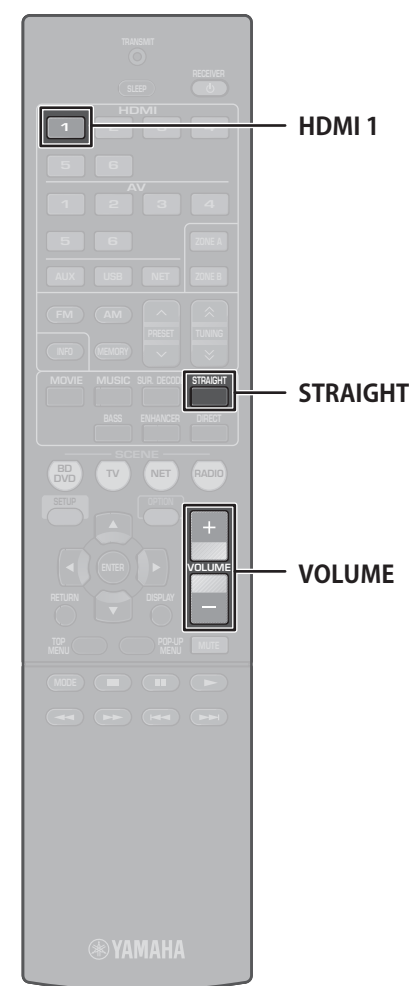
#### 正しく接続されている場合：

スピーカーの種類や設置環境によっては、正しく接続されていてもこのメッセージが表示されることがあります。手順 6 に進んで設定を保存してください。(お客様への確認を促すメッセージであり、そのままお使いいただいても本機の再生に影響はありません。)

## 8 BD/DVDを再生する

実際に BD/DVD を再生してみます。

サラウンド感を体感するために、マルチチャンネル音声 (5.1ch 以上) が収録されているディスクの再生をおすすめします。



- 1** BD/DVD レコーダーの電源を入れる。
- 2** HDMI1 キーで本機の入力を「HDMI1」に切り替える。
- 3** BD/DVD レコーダーで BD/DVD を再生する。
- 4** **STRAIGHT** キーを繰り返し押して「STRAIGHT」を選ぶ。
- 5** **VOLUME** キーで音量を調節する。

HDMI1  
VOL - 40.0 dB

STRAIGHT  
VOL - 40.0 dB



「STRAIGHT」(ストレートデコード) を選ぶと、ディスクに収録されている各チャンネルの音声は各スピーカーからそのまま出力されます。本機の音場効果はかかりません。

Volume - 30.0 dB  
VOL - 30.0 dB

これで基本的な接続と設定は完了です。



フロントスピーカーからしか音が出ない場合や、音の出ないスピーカーがある場合は、「取扱説明書」の「故障かな? と思ったら?」をご覧ください。